

西阿知

平成30年3月 第13号

発行

西阿知地区社会福祉協議会
西阿知地区社会福祉協議会
発行責任者 難波 正一

新会長挨拶



「地域の安全と高齢化に向かって」

西阿知地区社会福祉協議会
西阿知地区社会福祉協議会

新会長 安田泰治

西阿知地区社会活動促進協議会及び西阿知地区社会福祉協議会の諸活動に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

日本列島は災害列島といわれるよう毎年多くの災害が発生し、多くの人々が犠牲になっています。昨年は4月の熊本地震、昨年7月の九州北部豪雨、台風等ですが「幸い」我が西阿知地区では地形的な利点も幸いして自然災害と呼ばれるものは皆無ではなかったかと思われます。

「かつては、あれば川と呼ばれていた高梁川も新成羽川ダム、小田川の改修工事等により大雨が降り増水しても、堤防が決壊することは考えられません。将来発生が予想される南海地震、東南海地震も当学区では震度5強前後と言われています。(阪神淡路地震のときが震度4)今考えられる災害は自然災害ではなく、人災?火災で

はないかと思います。昨年、我が国では36,000件の火災が発生し、1,400人余の尊い命が奪われました。火災の中で最も多いのが建物火災で住宅火災が6割、死者の9割を占めています。その半数以上が高齢者で年齢が高くなるに従って死者発生率も高くなっています。火災の早期発見と死傷者減少のため住宅火災防止対策が国より示されています。その一例が住宅用火災警報器の設置義務です。現在倉敷市の設置率は約70%です。尊い命、財産を守るために火災警報器を設置し、我々自身の安全は我々で守ります。

一方、日本では先進国では類を見ない高齢化が急速に進み、私たちの学区も例外ではありません。平成17年に介護保険制度の改正が行われ現在では倉敷市内の小学校区を単位として高齢者支援組織が出来、当学区にも3年前に設立、当初は学区内の横つながりから始まり、いきいき100歳体操、認知症高齢者の徘徊時の検索ネットワークシステム等の活動を高齢者支援センターさんの指導の下、取り組んできました。今後の取り

組みは高齢者の集いの場を増やしていくこと、認知症の知識普及啓発を行い、高齢者になつても住みやすい西阿知学区を目指し、高齢者世帯が急速に増えている中で介護保険等の制度だけでは生活を賄うことが出来ない時代が目前に来ている状況から、地域の課題は地域で解決でき、地域住民同士が助け合うことが出来るシステムを作ることが必要です。

今後の課題は、西阿知学区は広く公民館単位のまとまりはあるが、活動内容、地域性、課題も異なっている中、小地域ケア会議で公民館、他組織同士が横のつながりを持ち、西阿知学区全体の課題にみんなで取り組む必要があると思います。

今後とも皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

愛育委員会はこんな活動をしています

子育て支援活動
*親子クラブへの支援
*「愛・愛サロン」の開催

西阿知学区愛育委員会
の活動紹介です。

学区の自主活動
*定例会
*総会および研修会
*他の組織団体との連携
*ミニ健康展やウォーキング大会の開催

各種健診の推奨と支援
*幼児検診の支援
(1・6才児、3才児)
*基本検診の推奨
*胃がん検診の支援
*胸部レントゲン検診の支援

高齢者支援活動
*友愛訪問活動
(孤立感解消や安否確認のための声かけ訪問活動)
*「童謡の会」の開催
*「百歳体操」の開催

西阿知学区地域活動促進協議会
西阿知地区社会福祉協議会

前会長 岡野伸英

退任の挨拶

私事、この度、平成28年度をもちまして西阿知学区地域活動促進協議会及び、西阿知地区社会福祉協議会会长を退任する事になりました。

予てより体調不良のなかでの職務でしたが、最近職務に支障を感じる場面もあり、退任を決意いたしました。

在職中皆様方に温かいご支援とご協力を賜りましたことに、この紙面をお借り致しまして心より厚くお礼申し上げます。

後任には、片島公民館館長の安田泰治氏に就任して頂く事になりました。

今後とも新会長のもと、地域活性化、福祉活動に地域の皆様に温かいご理解とご協力を賜りますようお願い致しまして退任の挨拶と致します。

川柳

断捨離を進めているが物へらず
口走りその一言で終スカン

新札に替えて正月嵩がない
茶事の席一期一会の絆とし
正月の賀札見る碗並ぶ

人生の進路はまめに修正し
料亭のおせちに助けられ二日

新年へ大も笑顔で飛び廻る
ため息のへらぬようにお年玉
プラス思考生きています八十路坂
(ふれあい会員)

すみれ会厚生労働大臣表彰受賞

まだ暑い盛りの8月半ばに倉敷ボランティアセンターから「すみれ会さんが厚生労働大臣賞の表彰を受けることがほぼ決まりました。については決定した場合、表彰を受けられますか?」と、確かにこのような電話だったと思います。内容をはつきりと、飲み込むまで、少し時間がかかったようにも思いました。それはおそれ多い気持ちがしましたが、「喜んで受けさせていただきます」と返事をいたしました。そして11月22日東京メルパルクホールでの授賞式に3名で出席させていただきました。この表彰は全国社会福祉大会の主催で、厚生労働大臣表彰・全国社会福祉協議会会长表彰・中央共同募金会会长表彰3部門のうち厚生労働大臣表彰のボランティア功労者の部門でいたいたいものです。私たちが何よりも嬉しかったのは個人表彰が多い中で、「ボランティアすみれ会」という会に表彰状をいただけたということです。ボランティアの会を立ち上げたのは愛育委員OBの方々で27年前に発足させ、現在も立ち上げ当初からの会員7名も現役でしっかりと活動されており、中心となつて会をひっぱり今日のすみれ会を作ってくれ頼もしい限りです。

発足当初から、いろいろと苦労しながら今日の「すみれ会」の姿になつたと思います。それに西阿知学区の社会福祉協議会

をはじめ、地域の方々の温かいご理解、ご支援が大きかつたことはいうまでもありません。

今、すみれ会は「無理せず、楽しく、ボランティアすること」をモットーに地域に根差した事業をさせていただいている。西阿知学区にとって「すみれ会っていいよね」といわれるようになれるように会員一同力を合わせていくつもりです。

今後とも地域の皆様のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

すみれ会会長 安東 豊美



すみれ会の各種活動

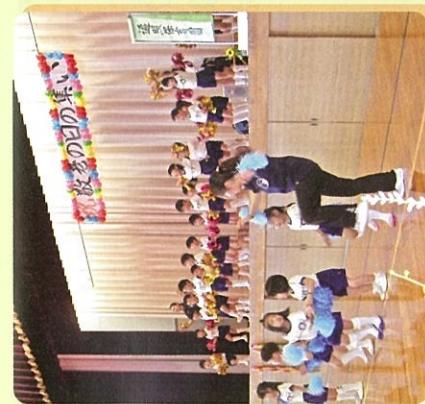
敬老の日の集い

8月18日、小学校体育館において、「敬老の日の集い」に約200人超の方々が参加し、盛大に催されました。

第二中学校のマーチングで開幕され、遍照保育園児による歌や踊りが披露されました。その後、手話やコトラス、備中神楽などを催しました。



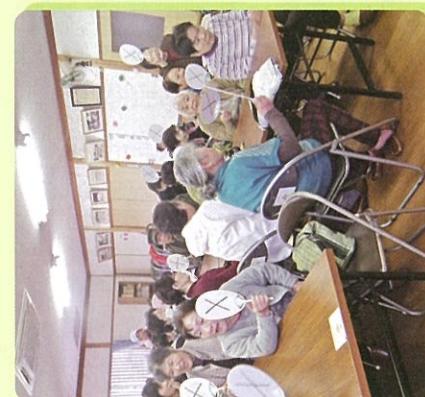
今年は新しい催し物として寸劇「心によりそう」が加わり、すみれ会のメンバーに地区社協の男性2名が参加しての熱演が会場を沸かせました。



各地「ふれあい交流会」

学区内各地区での「ふれあい交流会」を開催。

各種催し物の後、うどんの接待がありました。



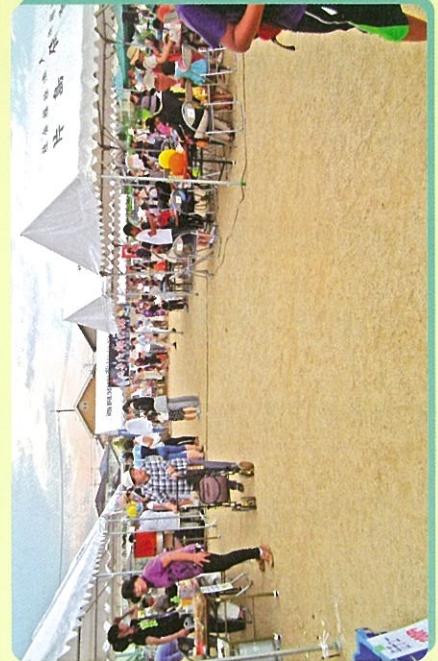
友愛訪問

1月28日(日)西阿知学区内にお住まいの高齢者で70歳以上の一人暮らしの方、または、80歳以上のご夫婦二人で暮らしておられるお宅に、すみれ会・民生委員・愛育委員が寿司に果物等を添え一人ひとりに手渡してお配りしました。当日の1週間から10日位前に安否確認と当日の在宅確認を兼ねて手作りの絵手紙を持ってお伺いしました。



学区内各地区の祭りに

学区内各地区で行われている祭りに参加しています。



ますみ荘でボランティア

毎月2回の散髪隊をはじめ月1回の包布交換やますみ荘の運動会・盆踊り・餅つき・交流会の他、ひまわり号のお手伝いなど、数多くのボランティア活動を頑張っています。



西原地区文化祭 すみれ会 地域ふれあい交流会

平成29年3月5日、第11回西原地区文化祭が西阿知いこいの家にて、西原公民館、和老会、すみれ会の共催で開催されました。

すみれ会は西原文化祭の開催が決まる以前から地域ふれあい交流会として、うどんを無料で提供されており、人気のイベントでありました。そのおかげもあり、文化祭は初回より大勢の方の参加を頂きながら今日に至っております。



当時は、多くの子供たちの参加を頂き、硬筆及び毛筆習字教室の先生方には、いつもの事ながら限られたスペースに気を配つてご協力いただき厚くお礼申し上げます。

これからも地域のふれあい交流会及び文化祭に多くの人の参加をお待ちしています。

文化祭実行委員は、和老会、公民館とも高齢化が進んでおり、世代交代しながらの活動であります。すみれ会の方々はほとんど交替もなくウーマンパワーの健在ぶりを見せつけられています。

イベントのコーナーでは、毎年いろいろなアトラクションが催されていますが、最近よく見聞きする高齢化、認知症に対する取り組みも、軽いストレッチ、脳トレ等が高齢者支援センターとの協力を得て行われています。

西原地区では毎週水曜日、9時30分より、いこいの家と西原公民館で「健康で長生き」をテーマに、いきいき百歳体操が実施されています。申し込みは必要ありません。一度参加してみてはどうでしょうか。

趣味のコーナーでは1年間この日のため頑張った作品が多く展示され、目を楽しませて頂いております。有難うございました。

写真のコーナーでは自然の美しい風景、イベント、子どもなどの素晴らしい作品が寄せられています。さらに昔の懐かしい、今のお年寄りが見て自分の子供時代、青春時代を思い起こさせられるような写真があれば是非参加して下さい。

これからも、すみれ会のウーマンパワーと、和老会、公民館のメンバートと力を合わせて文化祭の発展に尽力してまいりたいと思っています。

投稿 岡野 伸英



地域子育て応援会議主催 ウォーキング大会を終えて

平成27年5月に西阿知学区で「地域ぐるみで親子を見守り、安心して子育てできる西阿知」を目指して、子育て応援会議がたちあがり、地域の皆さんと一緒にウォーキングマップを作成しました。

作成したウォーキングマップは、地域の方・妊婦さん・乳幼児・子育て親子・祖父母世代の方々が交流できるように、そして西阿知の良さをより多くの人に知つてほしい、という思いで作りました。

3月のプレウォーキングでは、Aコースをシルラリーフ式で巡り、3B体操で身体を動かしました。10月のCコースでは、愛育委員の皆さんとの協力のもとミニゲームや防災の話・神楽の伝承館見学等地域の良さを感じる会となりました。



どちらのウォーキングでも、すみれ会の皆さんには美味しい豚汁を作つて頂いたり、防犯の方には交通整理を行つて頂いたりしました。何より100人を超える参加者の方に支えられ、「地域の力」として、地域の繋がりを感じることが出来ました。有難うございました。

今後もウォーキングマップを活用していただき、妊婦さんや子育て親子への挨拶や声掛けなど少しでも関心を持つてもらえたら…。

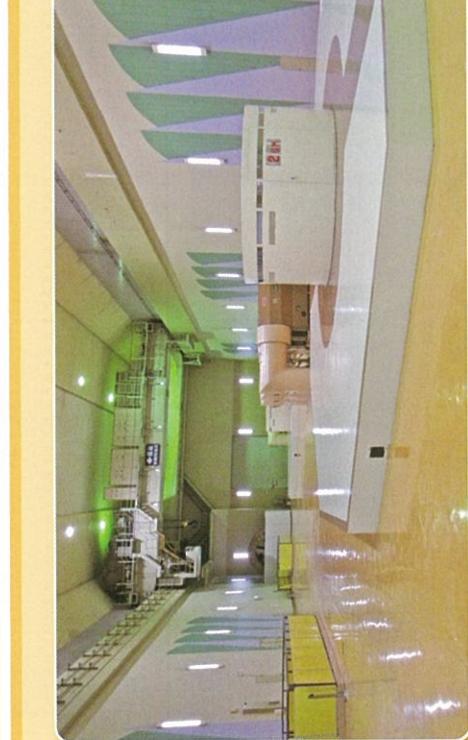
「地域ぐるみで親子を見守り、安心して子育てできる西阿知」になるのでは、と思っています。今後もよろしくお願いします。

白神 万里子

環境衛生観察研修 関西電力 大河内発電所

11月19日、兵庫県神崎郡神河町にある大河内発電所の見学に環境衛生協議会西阿知支部の44名で行つてきました。

太田ダム（上部ダム）、長谷ダム（下部ダム）を設け、その高低差394・7mを利用し、最大128万kWの発電を行つている純揚水式発電所です。発電所は地下280mに作られています。



揚水発電所とは「電気は昼間に多く使われ、深夜の使用量は昼間に比べ半分以下になります。揚水発電は夜間のゆとりある時間帯の電気を使って、水を上のダムにくみ揚げておき、電気が多く使われる昼間にその水を下のダムに落として発電するものです。つまり、大きな蓄電池の役割をもち、電気がたくさん使われる時に力を発揮する、いわば「電気のピニチヒツタ」です。

11月中旬過ぎの日でしたが上のダムでは雪が舞つてゐることでした。私たちが見学した発電所やビレッジの場所は時折小雨が降つたり日が差したりで、ますますの天氣でした。帰りには、新しく改修された姫路城を見学しました。こちらは天候にも恵まれてよかったです。が、階段が急で足が痛くなつた方もおられたようです。



